

日本工学院八王子専門学校		開講年度	2019年度（平成31年度）		科目名	病理学概論2	
科目基礎情報							
開設学科	鍼灸科		コース名			開設期	後期
対象年次	2年次		科目区分	必修		時間数	30時間
単位数	2単位		授業形態	講義			
教科書/教材	病理学概論（第2版） 医歯薬出版社						
担当教員情報							
担当教員	大下 裕之			実務経験の有無・職種		有・鍼灸師	
学習目的							
疾病とは正常な体の構造や機能に何らかの異常が生じた結果さまざまな症状などが認められる状態である。正常な体の構造については解剖学、機能については生理学で学習するが、病理学概論2ではそれらに起こる「異常」について理解することを目的とする授業である。							
到達目標							
「炎症」「腫瘍」「免疫異常」「アレルギー」「先天性異常」について学習する。そしてそれらが疾病の発症にどのように関わっていくのかを理解し、最終的には疾病について学習する「臨床医学各論」と結び付け病態を理解できることを最終目標とした授業である。							
教育方法等							
授業概要	からだの異常について理解するためには正常な構造・機能を理解しておく必要がある。そのため授業内容に関連する解剖学や生理学の内容を確認しながら授業を進めていく。また各組織、器官、臓器で起こるさまざまな「異常」の結果起こる疾病についても臨床医学各論と合わせながら理解し授業を進めていく。						
注意点	授業日数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。講義時間に無連絡で20分以上遅れた場合、受講はできるが出席の扱いをしない。明確な理由が無い早退は出席したとは認めない場合がある。 課題は、本科の規則に従った形式で提出する。特定の指示が有る場合を除いて、手書きでの作成を原則とする。						
評価方法	種別	割合	備 考				
	試験・課題	100%	中間テスト・期末テスト2回の筆記試験				
	小テスト	0%					
	レポート	0%					
	成果発表 （口頭・実技）	0%					
	平常点	0%					
授業計画（1回～15回）							
回	授業内容			各回の到達目標			
1回	炎症の概要、局所病変			炎症の概要と炎症局所の変化（過程）について理解する			
2回	炎症の分類①			変質性炎、滲出性炎（漿液性炎・線維素性炎・化膿性炎・出血性炎）、増殖性炎について理解する			
3回	炎症の分類②			肉芽腫性炎（結核・梅毒・癰）について理解する			
4回	腫瘍の組織学・形態			腫瘍の組織学的特徴、肉眼的特徴について理解する			
5回	腫瘍細胞の特色・発生段階・生体への影響			腫瘍細胞の特徴、腫瘍の発生段階（癌の潜伏期・前癌・転移など）について理解する			
6回	腫瘍の原因			腫瘍の内因と外因について理解する			
7回	腫瘍の分類①			良性腫瘍の分類について理解する			
8回	腫瘍の分類②			悪性腫瘍の分類について理解する			
9回	免疫不全			先天的・後天的免疫異常について理解する			
10回	自己免疫疾患			代表的な自己免疫疾患と自己抗体について理解する			
11回	アレルギー疾患			Ⅰ型～Ⅴ型アレルギーの機序と代表的疾患について理解する			
12回	遺伝病			単因子遺伝病、多因子遺伝病について理解する			
13回	染色体異常			代表的な染色体異常疾患について理解する			
14回	奇形			奇形の原因について理解する			
15回	奇形			奇形の種類について理解する			